



「御神旗」も初展示

29. 4. 25

杉並区広報課

「相馬野馬追」写真展開催中！

4月24日から5月8日にかけて、区役所1階ロビー及び2階区民ギャラリーにて、福島県南相馬市の「相馬野馬追」写真展を開催しています。写真とともに甲冑や旗指物（はたさしもの）など、祭具の展示も行われ、1000年以上の歴史をもつ伝統的神事の熱気を感じることができます。

「相馬野馬追」の開催地である南相馬市と杉並区は、平成17年に災害時相互援助協定を締結し、これまでに東日本大震災における支援をはじめ、物産展やイベントを通して交流を深めてきました。また、被災地支援の一環として、職員の人事交流も行われ、現在8名の杉並区職員が南相馬市に、2名の南相馬市職員が杉並区にそれぞれ派遣されています。



毎年7月末に開催される「相馬野馬追」は東北地方を代表する夏祭りのひとつで、甲冑で身を固めた500騎あまりの騎馬武者が、腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走し、勇壮な戦国絵巻を繰り広げます。

今回の写真展で展示されている写真は、平成28年度野馬追フォトコンテストで入賞した、野馬追の勇ましさや臨場感を感じられる作品ばかりです。

また、本祭りで行われる「神旗争奪戦」において、武者たちが奪い合う「御神旗」も今回初めて展示しています。花火で打ち上げられたこの旗を、数百騎の騎馬武者が鞭をかざし合戦しながらに奪い合う、本祭りのクライマックスを感じることができます。



「相馬野馬追」の由来は、相馬家の始祖「平小次郎将門（たいらのこじろうまさかど）」が、現在より一千有余年の昔、新しい軍事力として馬の活用を考え、現在の千葉県流山市付近の牧に野馬を放牧し、野馬を敵兵に見立てて追い、馬を捕らえる軍事訓練として始まったとされています。

写真展に立ち寄った20代の女性は、まるで戦国時代の一瞬を切り取ったような作品を見て、「是非、南相馬市に足を運んで自分の目で見てみたい。」と話していました。

「相馬野馬追」写真展

【日時】4月24日（月）～5月8日（月）午前8時30分～午後5時

【場所】杉並区役所1階ロビー及び2階区民ギャラリー（阿佐谷南1-15-1）

【費用】無料

【報道機関 問い合わせ先】

総務部広報課：03-3312-6855（直通）